

「未来高岡」ステップアップトーク（北般若地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 11 月 2 日（水） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 吉住集落センター

3、出席者 市民 74 名（うち女性 19 名）

高岡市

市長、経営企画部次長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・平成 27 年 3 月に北陸自動車道の高岡砺波スマート I C が開通し、平成 28 年 9 月にその背後の地域が市街化調整区域から工業系市街化区域に編入することが確定した。地元の雇用や人口減少対策に有効なので、今後スピード感ある開発や企業誘致を進めてほしい。

市長

- ・戸出西部金屋地区は高岡砺波スマート I C に近く、戸出オフィスパークとつながる地域であるため、工業系市街化区域に編入した。開発については順次手順が進んでいく状況まできている。地質調査等も必要なため、地域にも協力していただき相談しながら進めたい。人口増加のために産業や雇用を増やすだけでなく、良い居住環境も用意し、高岡の活力を伸ばしたい。

参加者

- ・高岡市スポーツ健康センターのパークゴルフ場を公認大会が開けるように増設してほしい。高齢者にとっては健康寿命を延ばし医療費を抑制することができ、行政にとっても社会保障費の抑制になるのでぜひお願いしたい。

市長

- ・パークゴルフ場の増設についての要望は把握している。今は皆が近くで楽しめる環境を作ることを優先したい。大会開催の可能性などについても、地域の状況をみながら考えたい。

参加者

- ・総合計画の中で市の施設や空き家をどう活かすのか。

市長

- ・空き家問題については、中古住宅として流通できるものはよいが、もう住めないような空き家を処分してほしいという話もある。今、対策の要綱を作成しているところだが、所有権の問題などもあり難しい。危険な場合は強制的に対処できるよう作業を進めており、条例も整備したい。

参加者

- ・日本自動車連盟の調査で、横断歩道に人がいても止まらない車の方が多いという結果が出た。道幅が広いとどうしても車はスピードを出すので、道路や橋梁のメンテナンスを行うときは、歩行者の安全とのバランスを取ってほしい。

市長

- ・道路や橋梁は、設備を点検し早めに手入れをすることで長く持たせたい。施設総量の適正化を進め、新しく施設を作る時は厳選し今あるものを活用したい。公共施設白書¹を元に議論をすすめ、行政の効率化を進めたい。

参加者

- ・高岡市の将来の財政状況はどうなるのか。また市の借金について市民に知らせているのか。

市長

- ・財政状況はどの市町村も厳しい状況にあり、財政健全化は常に目標の 1 つである。新高岡駅や道路整備の事業費が増えた時期もあったが、今はピークを過ぎ落ち着いてきたので、今後は事業費を平準化したい。市の財政状況は「市民と市政」に載せ、市民にも評価してもらえるようお知らせしている。市町村の財政状況の評価指針の 1 つとして実質公債費率²というものがあり、これが 25%を超えると危険な状況だが、高岡市は 15.1%である。今後も 18%を超えないようにしたい。昨年度と今年度は市債を返済する金額以内でしか市債を発行しないようにし、徐々に市債残高を減らすようにしている。今後も様々な指標を見ながら財政健全化に取り組みたい。

¹ 地方自治体が保有する公共施設について、現状や統廃合への課題、将来の配置計画、維持管理・修繕・更新の将来費用推計などを把握して住民に知らせるため、自治体が発行している調査報告書。

² 自治体の収入に対する負債返済の割合を示す。通常は 3 年間の平均値を用いる。

参加者

- ・今、農業の担い手が高齢化し減っている。今年からは菜の花を肥料として無化学肥料・無農薬米を作り、その販売を始めた。こういう新しい農業を継続して行くことが大切だと考えるが、市はどう考えているか。

市長

- ・若手農業者と話したことがあるが、皆さん非常に意欲的で、今後若手農業家が起業精神をもって取り組んでいってくれるかと思うと頼もしい。良いものを作った後にどういう売り方をするかも大事であり、事業としての感覚を若い世代に持ってほしい。農作物を植えた後にどうその事業費を回収するかについて、景観そのものを売りにしているところもあるが、6次産業化に取り組むこともでき、農業者の方それぞれの夢を実現して欲しい。

参加者

- ・私の親は石川県の施設に入っており、自分が将来地元の高齢者施設に入居できるか心配である。富山県では特別養護老人ホームの空きがなく、100人や200人待ちと言われて実質入居できないという現状である。おまけに、介護職員は給料が低いため介護職員が足りず、一部の部屋が使えない施設もあるようで、今後の心配である。

市長

- ・以前は新規の高齢者入居施設を抑制していたが、2年ほど前から新規施設の建設を進めている。特別養護老人ホームなどの大きい施設はすべての地区に用意できないので、待機している人もいる。今は完全な入居施設とショートステイができる施設を整備し、地区に介護施設が複数あるようにしている。少しずつでも在宅介護や地域の施設で対応できるようにしたい。個別の問題については、具体的な状況に応じて相談してほしい。高岡市は認知症対策が遅れていたが、今は介護予防にも力を入れており、市民病院で先端医療を受けられるよう進めている。地域包括支援センターや専門家のコーディネートなど制度全体を組み合わせですすめたい。

参加者

- ・県道高岡庄川線は拡幅工事を行っていたが、戸出春日地内で急激に狭くなるので、残り区間についても拡幅工事をお願いしたい。

参加者

- ・戸出大清水地内の県道富山戸出小矢部線は、北側には歩道があるが、南側には歩道がない。交通量が多く危険なので南側にも歩道をつけてほしい。

市長

- ・ 県道など地元の要望については、自治会長のもとでしっかりまとめ、戸出地区全体要望として整理していただければ市からも県の方へ要望してまいりたい。どちらの路線についても順次進んでいると聞いていたが、詳しい場所についてまた教えてほしい。